市長 勝手にやると混乱してしまうと思いますので、協議をしていただくようお願いいたします。

市民 赤羽根区です。津波対策については様々な広報活動をされていますが、3月11日の災害を受けて、それをどう市民に一層浸透させるかということと、大津波が来た際の高台への避難訓練について各区にお任せではなく、行政主導で行っていただきたいです。赤羽根区では6月に自主防災会で高台を調査して、目安となる高台を7か所ほど選定し、絶対的なものではないですが、区で参考として提示するために審議をしているところです。市としても高台へ避難することを取り入れた防災訓練をぜひ補完してほしいと思います。

職員 10月22日に予定している総合防災訓練を、今年は初声地区で行う予定です。初声中学校を訓練会場と考え、訓練内容を計画しています。
それから、市内56区のうち35区が沿岸に面しています。その35区を中心に、市が出向いて防災訓練、防災講話をすることを計画し、準備を徐々に進めています。その際には高台の確認を地域の方と一緒にしていきたいと考えています。

市民 先日、三浦の活断層について新聞報道がありました。それを見た横須賀の人は「横須賀は危ないから引っ越そう」という話を結構しています。例えば南下浦活断層というのはどういう状況でどうなるのかということは市で把握されていますか。

職員 7月11日に文科省が発表したものですが、三浦半島断層群といえます。
三浦市では黒崎の鼻から南下浦中学校の高抜^{たかぬき}まで走っている「南下浦断層」と、松輪入口の信号から雨崎まで走っている「引橋断層」、この2つが三浦市の陸地における断層です。横須賀の3つの断層と合計して5つの断層を1つの群として「三浦半島断層群」と呼んでいます。今回の発表は、衣笠と北武断層を調査した結果、今後発生確率が高まる可能性があるというものでした。三浦市は、今回の発表前から断層については認識しており、次の地域防災計画修正の際には、この断層群による震災の減災を掲げた計画にしたいと考えています。

市民 防災マップで標高表示がありますが、電柱に、「ここの標高は〇メートル」というような表示をする考えはありますか。

市長 避難路の表示や標高の表示はこれからする予定です。自治体によっては先行して例えばカーブミラーに標高表示をするところも出ています。三浦市ではどのような方法がいいか併せて検討していきます。

断層の話では、三浦半島は危ないという話をする方もいます。そのような風評被害もありますから、県とも調整する話が出ていて、来週、神奈川県 の 13 市町の市長・町長と知事との会談がありますので、そこで申し上げるつもりでいます。

市民 初声中学校の標高はどのくらいでしょうか。

職員 校門、体育館のところ約 12 から 13 メートルです。

●初声地区の防災対策について（情報伝達について、ほか）

市長 防災無線が聞き取りづらいというのは市内各所でいただいております、危機管理課の職員が現地に赴いて改善にあたっています。個別に対応しますので、聞き取りづらい場合は市に言っていただきたいと思います。

それから、今回の震災ではツイッターに効果があったようです。帰宅困難者がツイッターで情報を入手して移動したり、被災状況の把握に活用されたということです。三浦市でも今利用できるようになっています。

市民 和田の里区です。

避難路を自分で登ってみると、高台というのはかなり大変です。手すりのある場所もありましたが、そういうところまで考えないと、避難しない方が現れると思います。大変だと思いますが、考えていただきたいと思います。

それから 3 月 11 日の当日、大津波警報が出ましたが、国道に出て「本当に逃げないといけないのか」という顔をしている人がいました。「グラッと来たら」位の紙での周知程度では、「何か紙があったな」で終わってしまいます。目から入る情報より、耳からの情報の方が記憶に残り、忘れません。例えば防災無線の振り込め詐欺。日頃からどういう方法で市民に情報を伝達すればいいのかということ、ただ紙を出せば終わりとしなくて、震災があったときに逃げられるよう、本気で考えていただきたいと思います。避難勧告が解除されないうちに避難所から帰ってしまう方もたくさんいました。二波、三波のことは後から被災地の状況を聞いて知ったことでした。情報伝達は、ただ流せばいいというものではなくて、本当に命を守らなければいけないわけです。

それから、今回の震災はあらゆることが想定外でした。市としては何かを想定しないと計画を立てられないと思いますが、「想定を超えること」を想定して、そこまで考えて対策をしていただければと思います。

それから、区長にも要援護者制度の協力依頼が来ています。市としては名簿ができれば安心なのかもしれませんが、実際に要援護者の方と一緒に歩いてみると分かりますが、本当にゆっくりゆっくりですし、車イスの方はさらに条件が厳しい

です。避難所に行けても和式のトイレだと座れないから嫌だとか、水を持っていても「トイレに行きたくなくなってしまうから飲まない」ということが起こります。避難所は学校が多いのでバリアフリーではありません。当日は本当に大変で、学校に残っていた生徒さんをお願いして一緒に避難先の教室まで行ったということもありました。そういうことも含めると、要援護者を共助すべきではあるんですが、助ける方に指定された人も怖いと思います。区長や民生委員としてどこまで責任を負うのか、怖い感じがします。

職員 まず市民の意識の改革が必要だというご指摘だと受け取りました。今後も先ほど申し上げたとおり、要援護者の関係も含めて、地域に出たときに、ひとつひとつの問題・不安を抱えていえるものをお互いに確認しあっていきたいと思います。想定外の対策についても、改めて次の地域防災計画の修正を行うときに「想定外」という言葉も視野に入れた修正を考えていきたいと思います。

市長 避難路の手すりや避難経路についてこれから地区に入って看板の掲示することなどを計画しています。不具合があった場合には、全て直すつもりでいますので、ぜひ情報をお知らせください。それから、情報伝達は一番の課題です。今回の震災の時も、海岸沿いで海を眺めている人がいました。避難所でも不備がありました。要援護者制度も大きな課題です。「グラっときたら」のチラシをお配りしましたが、目下すぐにできる手段として実施しました。今後は例えば、いつも冷蔵庫の脇に貼っておけるようなものを用意する必要があるだろうと思います。要援護者制度の責任については、区長さんも民生委員さんも地域のボランティアでやっただけなので、責任を問うなんてことはありません。あくまで共助の精神でお願いをしたいと思います。
仮設住宅のご質問もいただいていましたが、どこだろうと、建てられる場所さえ見つければ誰の土地でも私は作ろうと思っています。

市民 危機管理課の方にお聞きします。被災地支援のために職員が被災地へ行っていると思いますが、その方たちが感じたことなどを教えてください。

職員 震災以後現在まで、消防職員や行政職員を多数派遣しています。その報告を受け、共通している言葉は、「何があってもすぐ逃げろ」という言葉です。

●プロパストの開発工事について

市民 矢作区です。今月区民会館を利用した際、カメムシの死骸が数百匹ありました。開発地に草がたくさん生えている影響だと思われます。9月に開発業者が草刈り

を予定しているということですが、年に何回くらいやっていただけるのか。区からも業者に直接お願いした方がいいのかお聞きします。

職員 定期的にやっていただきたいというお願いをしまいましたが、予算の面で年に 1 回が限度と聞いています。できれば地元からもご要望を投げかけていただければ、効果があるかと思えます。行政からも引き続きお願いをしていく予定です。

市民 数メートルだけでも良いと思っていますので、働きかけをお願いします。

市民 農協から黒崎に向かう道路について、途中変則道路になっているのを元の道路に戻していただくよう、地元からも訴えていきますが、市からも業者に強く言っていただきたいと思えます。

市民 元の道路を使えるようになった場合、今、木の杭が打たれていますが、それがシロアリにやられてしまっているのを、業者にはしっかりしたものにしていただきたいのですが。

市長 業者に対する区の要望がいくつかおありなので、区の要望として業者に投げかける内容を市と再度確認させていただいて、お互いに意志疎通を図りながらやりましょう。その方がいいと思えます。都市部から区の方にもう一度確認をさせていただいて、業者から回答をもらうようにします。

●市役所のサマータイム導入について、ほか

市民 三浦市役所は電力の大口事業者ですか。どのような契約になっていますか。

職員 国で指定されているような、電力の 15%削減が義務付けられている対象ではありません。自主的に 15 パーセントを目標に節電の取り組みをしています。

市民 具体的にどのような節電対策ですか。

職員 基本的には勤務開始時間から午後 1 時までにはエアコンを入れません。ただ来庁者や職員の健康状態に留意しながら、柔軟に対応することにしています。他には蛍光灯などの間引きやパソコンの待機電力の抑制などに取り組んでいます。

市民 私の勤め先は 15 パーセント節電を要請されており、輪番休日を行っています。ぜひ市も色々できると思えますので、考えていただきたいです。

市長 三浦市は財政が厳しいので、これまで電気代のカットをぎりぎりまでやっています。さらに 15 パーセント削減となると、エアコンを全くつけなくなるようなところに来ていますが、さらに努力をさせていただきます。

市民 犬の糞のことですが、ペットブームで犬を飼っている方が多いと思いますが、三浦でドッグランのような施設を作る、しつけをするような考えはありますか。

職員 ドッグランの施設の計画はありません。

職員 公園の他の用途での使用を止めて専用にする必要がありますが、専用施設として場所や使用する回数を考えると現実的には難しいと思います。

市民 駅構内のバス停は禁煙の策を講じているということですが、京急に喫煙スペースを作っていただくことは可能でしょうか。

職員 京急さんに確認したところ、あまり認知されていませんが、バスのロータリーを含め駅構内は全面禁煙となっているということです。PR が不足しているということだったので、今回市から PR をお願いしました。ですので、京急さんの構内については喫煙できないことになっています。
受動喫煙についても質問事項の中になりましたが、受動喫煙は建物の中だけに適用されるものなので、三崎口駅、三浦海岸駅前広場・ロータリーのバス停の場合には条例の適用外となりますので、ご理解いただきたく思います。

市民 三浦市の土地の中で喫煙スペースを用意することはできませんか。

市長 今の時代、禁煙の奨励はできますが、タバコを吸う人のために喫煙所を作るような政策は打てません。役所の中の喫煙所も問題になる位ですから。

市民 品川区では路上で吸える場所が設置されていますよ。

市長 多分、路上喫煙禁止区域がある地域ですね。三浦市は禁止区域が無いからです。

それではお時間になりましたので、このあたりで懇談会・トーク&トークを終了させていただきます。どうもありがとうございました。

※ 公表については了承を得ております。